

2019年度看護学教育指導者研修実施要項

1. 目的

地域包括ケアシステムの構築が進む中、次世代の看護職を育成する上で、地域のさまざまな保健医療施設と看護系大学の連携の重要性が益々高まっています。本研修は、看護学生の看護実践を直接指導する臨地実習施設所属の看護職が、社会の変化に即した看護学教育を行う上で必要な視点を養い、臨地実習施設と看護系大学の更なる連携・協働により、社会が求める次世代看護職の育成に資することを目的とします。具体的な目標は以下の通りです。

- ▶看護学教育の本質および学生の看護実践能力を評価する視点について理解する
- ▶看護学教育における臨地実習の位置づけや目的および実習指導の基本について理解する
- ▶学生指導の基盤となる成人教育の基礎について理解する
- ▶看護高等教育行政・政策の最新の動向を理解する
- ▶受講者自身が現在直面している実習指導上の課題を広い視野でとらえて考察できる
- ▶看護学生の臨地実習体験を教材として活用するための視点と方法について、具体的な事例をもとに理解する

2. 主催・実施

看護学教育研究共同利用拠点

千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター

3. 研修期間・研修内容

2019年8月21日（水）～8月23（金） 3日間

臨地実習施設等において看護学生の看護実践を直接指導する看護学教育指導者である看護職が必要な、看護系大学における看護学教育、臨地実習の位置づけや考え方、学生の成長支援等の知識を学びます。

初日（8月21日）の開始時刻は、10時を予定しております。

（研修内容は別紙1のとおり）

4. 会場

千葉大学大学院看護学研究科・看護学部（千葉市中央区亥鼻1-8-1）

5. 受講対象者

看護系大学の臨地実習施設所属の保健師・助産師・看護師のうち、以下の（1）～（3）の条件を満たす方で、看護系大学の推薦を受けた方とします。（看護系大学と臨地実習施設の間でご協議いただき、以下の条件を満たす方を、受講適任者として看護系大学からご推薦ください。

- （1）臨地実習指導施設において、看護学生の看護実践を直接指導する立場にあり、看護職としての実務経験が5年以上ある方
- （2）応募者自身が、臨地における看護学教育指導者として、実践的指導能力を高めるこ

とに強い興味と関心を抱いている方

(3) 全日程参加でき、研修期間中は研修に専念できる方

※本実施要項は、全国の看護系大学および各都道府県実習調整担当部署、訪問看護ステーション等にお送りさせていただいております。

6. 受講定員

50名（定員を超えるご応募があった場合は、臨地実習指導経験を含む職歴、自身の課題の明確さ等を総合的に勘案して選考し、受講者を決定させていただきます。）

7. 応募方法 **web 申込みとなります**

- ① 本センターホームページ (<https://www.n.chiba-u.jp/center/>) の看護学教育指導者研修申し込みフォームより **2019年6月3日(月)17時まで**にお申込みください。
- ② お申込みには、併せて「受講適任者推薦票・応募者調査票（別紙2）」のご提出が必要となりますので、本センターホームページよりダウンロードの上、必要事項を漏れなく記入してください。
 - ・送付につきましては、PDF添付にて「指定パスワード」を設定してください。
 - ※指定パスワードは、申し込みフォームに記載されています。

8. 決定通知

受講者の採否については、**2019年6月末まで**に送付させていただきます。

9. 経 費

受講料 30,000円（消費税を含む。）

本研修の受講にあたり必要となる往復旅費、食費、宿泊費等は、派遣施設もしくは受講者の負担とします。

10. 修了証書

研修修了者には、千葉大学大学院看護学研究科より修了証書を授与します。

11. その他

1) 本研修内容に関する問い合わせ先

千葉大学大学院看護学研究科附属看護実践研究指導センター 教授 和住淑子

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

T E L : 043-226-2471

F A X : 043-226-2471

e-mail : wazumi@faculty.chiba-u.jp

2) 上記1) 以外の事務的な問い合わせ先

千葉大学看護学部センター事業支援係（上村、馬場）

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻 1-8-1

e-mail : kango-cqi@chiba-u.jp